



安曇野ふるさとづくり応援団

# パートナー通信 安曇野

2019. 3. 19  
第50号

【発行:NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団】

〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2 (有) ライフポート安曇野内

TEL 0263-81-1325 FAX 063-81-1280 URL azumino-furusato.com

## みみより情報①

### 第28回ふるさとウォッチングin安曇野

2019年春シーズンの「ふるさとウォッチングin安曇野」。数えて28回目を迎える今回は、三郷野沢地区で4月14日に開催します。安曇野市の最南端に位置する同地区は、西に河岸段丘を持ち、背景の北アルプスと屋敷林、古民家の対比が美しい田園集落の姿を見せてくれる、安曇野らしさ溢れる景観を見ることができます。

このエリアは、「安曇野ふるさと遺産」の第1号として認定され、豊かに育まれた地域の歴史文化を次の世代に引き継ぐための活動を考え実践していこうとしています。まさに旬のエリアでのガイドウォークとなりますので、皆様お誘い合わせの上ふるってご参加ください。(高)【別紙参照】



## みみより情報②

### さとやま楽校説明会&講演会

2014年度に国営アルプスあづみの公園との連携事業としてスタートした「さとやま楽校」。6年目を迎える今年度は、ふるさと応援団を含む5つの市民団体の協力のもと、「田んぼの教室」「収穫の教室」「やまこの教室」「案内人の教室」を開講し、現在受講生を募集中です。

さとやま楽校の講座紹介を兼ねて、3月30日には国営アルプスあづみの公園堀金穂高地区を会場に、「里山の暮らしと歴史・保全の担い手」と題した講演会を開催します。講師は、岩原の自然と文化を守り育てる会代表の百瀬新治氏。後半には「里山の文化の継承と市民活動のアプローチ」をテーマに講座代表者によるパネルディスカッションも行い、安曇野の里山をフィールドにした「さとやま楽校」の魅力と意義について考えます。春の花に彩られた公園散策を兼ねて、是非ご参加ください。【別紙参照】

## みみより情報③

### クラフトゲート匠の杜「やまこの学校」



やまこの学校は、やまこ(天蚕)を知っていただくことを目的として活動し、7年目を迎えます。さとやま楽校「やまこの教室」を主催し、国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区を拠点に、飼育林での天蚕卵の山付け、幼虫観察、収穫(繭の収穫)、繭を使ってのコサージュ作り、糸取り、織り体験など、年間10講座を予定しています。

多くの方々にやまこの魅力を体感して頂ければと考えておりますので、是非ご参加いただければと思います。(古)【別紙参照】

## 活動報告② 安曇野屋敷林フォーラム2019

「安曇野屋敷林フォーラム2019」を、2月16日に穂高交流学習センターみらいで開催しました。今回は5年前に続いて長野県立歴史館長の笹本正治先生をお招きし、「ふるさとの文化的景観～飯山市小菅地区を事例に」と題して講演をいただきました。講演後には「安曇野ふるさと遺産2018」の認定式があり、「長尾野沢の屋敷林と田園集落」、「潮沢の交通遺産と東山集落の暮らし」「千国街道・穂高のまちなみ」が認定され、認定エリアで活動する屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト、潮沢ロマンの会、安曇野まちなかにぎわいプロジェクトとふるさと応援団が協定を締結しました。

後半は、3グループ代表と豊科郷土博物館の原館長を交えて、パネルディスカッションを行いました。「安曇野のふるさと遺産を引き継ぐために」市民として何が出来るのか、今回のフォーラムを成果とし、市民の方々がより、屋敷林やまちづくりに注目いただき、一段と磨かれた、美しい安曇野を目指したいと思いました。今回は参加者も91人と多く、またマスコミにも大きく取り上げられたフォーラムとなりました。



## 活動報告③ 冬の安曇野体験会

1月26日・27日に移住希望者を対象とした「冬の安曇野体験会」が行われました。参加者は9組13名で、ふるさと応援団からは、望月・宮崎・横田の3名がスタッフとして参加いたしました。

1日目は正午に市役所に集合、バスに乗って出発。中古住宅を購入してリフォームして居住している2軒の住宅を訪問し、家の中の説明をしていただきました。その後Vif穂高で買い物を兼ねた休憩をして宿泊先であるビレッジ安曇野に到着、16時より交流会が開かれました。交流会は4班に分かれて、我々スタッフと見学住宅のオーナーにゲストとして参加していただき、参加者と歓談をいたしました。また、後半は宮沢市長も参加しての交流会となりました。

2日目は朝6時に希望者による周辺散策、きれいに晴れて気温もマイナス10℃以下となり、北アルプスのモルゲンロードが美しい絶好の冬の朝体験ができました。朝食の後出発、明科の白鳥湖を見学の後、昨年移住された新築住宅のお宅を訪問、お話を聞きました。明科の「えべや」でおやき作りの体験と昼食をして終了、解散となりました。本年も参加者の皆さんから好評の「冬の体験会」となりました。(望)

### 「ふるさとパートナー」更新のお願い《重要》

2018年度「ふるさとパートナー」の会員期限は3月末となっています。2019年度の継続には年会費1,000円が必要となりますので、別紙案内を確認の上、是非会員の継続をお願いします。尚、「ふるさとウォッチング」会場の受付でも手続きが可能です。また、6月末までに更新手続きがされない場合は、パートナー通信の発送を一旦停止させていただくこととなりますので、早めの手続きにご協力をお願いします。



安曇野ふるさとづくり応援団